

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位(時間)	科目責任者
基礎看護学方法論Ⅰ-Ⅰ	1年次 前期	必修	講義	1単位(30時間)	星 翔子 ※
授 業 概 要					
<p>看護技術は人間を直接対象とする技術であり、対象と関わり合いながら安全で安楽な状態を実現させていく手段である。ここでは看護技術を身につけていく第一歩として、看護に共通する技術を習得する。各技術習得の際は単にやり方を覚えるだけでなく、科学的根拠や理論を学びながら身につけられるようにする。</p>					
到 達 目 標					
<p>1. 各領域に共通して用いられる基本的技術について、科学的根拠や原理原則を述べる。 2. 安全・安楽・自立に配慮しながら臥床患者のシーツ交換を行う。 3. 人の認識の個性を知り、他者と自己の認識の違いを確認する必要性について述べる。</p>					
回	学 習 内 容				担当教員
1-2	1. 看護技術とは				星 翔子 ※
3-11	2. 生活環境と病床環境 1) 生活環境の意義 2) 看護における生活環境 3) 環境のニーズが充足された状態と環境の調整に影響する要因 4) 環境のニーズの充足状況の判断 5) 環境の調整 6) 病床の整備 ①ベッドメイキング ②臥床患者のシーツ交換 計画 実施 評価				
12-15	3. 看護職にとって必要なコミュニケーション 1) 医療者のコミュニケーションの特徴 2) 情報収集のための意図的コミュニケーション 3) 演習				藤田 勇 ※ 他
学 習 方 法					
<p>講義及び実習室での演習によって技術の習得を目指す。そのためには与えられた時間に参加するだけでなく、学内演習までにビデオや資料を使っての自己学習が必要である。練習の際は教員や学生同士のアドバイスを積極的に受けながら行うと効果的である。</p>					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験、技術試験、小テスト、レポート					
先 修 科 目					
なし					
教 科 書、参 考 書					
〔教科書〕 新体系 看護学全書 専門分野Ⅰ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 編集 深井喜代子 メジカルフレンド社 新体系 看護学全書 専門分野Ⅰ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 編集 深井喜代子 メジカルフレンド社 コミュニケーション実践トレーニング 杉原桂、野呂幾久子、橋本ゆかり ナカニシヤ出版 写真でわかる 実習で使える看護技術 アドバンス 編著 吉田みつ子 本庄恵子 インターメディカ 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術 監修 川島みどり 医学書院					